

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民の定住意識や生活環境に対する評価、市政の各分野についての意向などを把握し、今後の行政施策の参考資料とするものである。

2. 調査の内容

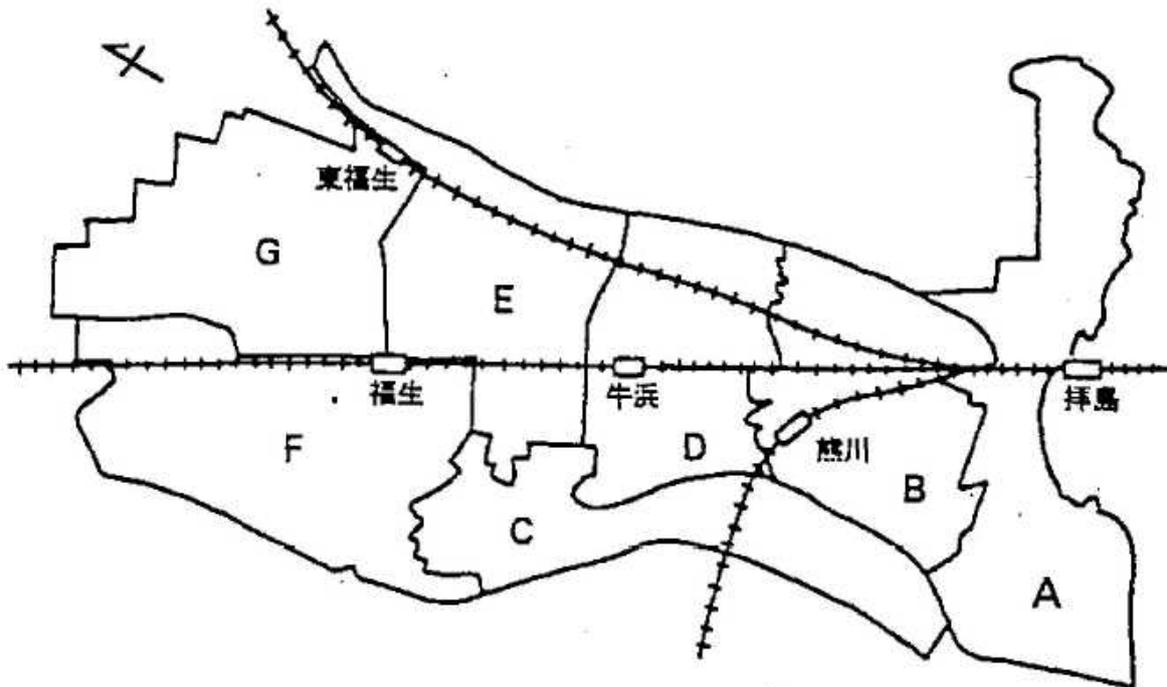
- (1) 調査地域 福生市
- (2) 調査対象 市内在住の満20歳以上の個人
- (3) 標本数 2,400
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査時期 平成27年7月27日～8月17日
- (7) 調査機関 株式会社エスピー研

3. 調査結果

- (1) 標本数 2,400
- (2) 有効回収数 1,145
- (3) 有効回収率 47.7%

4. ブロックの構成

(1) 地域特性を把握するため、平成24年調査の分類にしたがい、町会（地域）区分を下記7地域に分類した。



区域	町会（地域）名
Aブロック	福生熊川住宅自治会、南町会、内出町会、武蔵野町会、福東町会
Bブロック	鍋ヶ谷戸第一町会、鍋ヶ谷戸第二町会、玉川台町会、富士見台町会、福栄町会
Cブロック	福生団地自治会、志茂第一町会、南田園一丁目町会、南田園二丁目町会、南田園三丁目町会
Dブロック	熊川牛浜町会、牛浜第一町会、牛浜第二町会
Eブロック	志茂第二町会、本町第七町会、原ヶ谷戸町会
Fブロック	本町第一町会、本町第二町会、本町第三町会、本町中央町会、本町第六町会、永田町会、長沢町会、加美第一町会、加美第二町会
Gブロック	加美平団地自治会、本町第八第一町内会、本町第八第二町内会、武蔵野台一丁目町会

(2) 地域別の回収結果

区域	区域別対象者	標本数	有効回収数	有効回収率
全体	45,913	2,400	1,145	47.7%
Aブロック	6,622	343	151	44.0%
Bブロック	5,433	285	137	48.1%
Cブロック	5,673	298	145	48.7%
Dブロック	4,886	256	133	52.0%
Eブロック	6,855	358	183	51.1%
Fブロック	7,079	371	180	48.5%
Gブロック	9,365	489	216	44.2%

5. この報告書の見方

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- (1) 図表の中のnとは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。
- (2) 比率はnを100%として百分比で算出し、小数点第2位を四捨五入して示した（ただし、過年度推移の図表のうち、平成18年度以前の結果については小数点第1位を四捨五入）。このため、設問のすべての選択肢の比率の合計が必ずしも100%にならない場合がある。
- (3) この調査は、平成15年度調査以前は対面調査で実施していたため、過年度推移の図表では選択肢中の「無回答」は存在せず、また、「わからない」の選択肢を図表中で「無回答」として示している。
- (4) 複数回答の設問では、設問のすべての選択肢の比率の合計が100%を上回ることがある。
- (5) 本文や図表中の選択肢表記では、場合によっては語句を短縮・省略化している。
- (6) クロス集計では、属性によってはnが少ないものがあり、この場合、統計的誤差が大きくなるので注意が必要である。そのため、比率の見かけ上顕著に大きな値を示していても、分析の文章ではふれていない場合がある。
- (7) この調査の標本誤差は次の式によって得られる。

$$b = 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団の人数
 n = 比率算出の基数(サンプル数)
 p = 回答比率

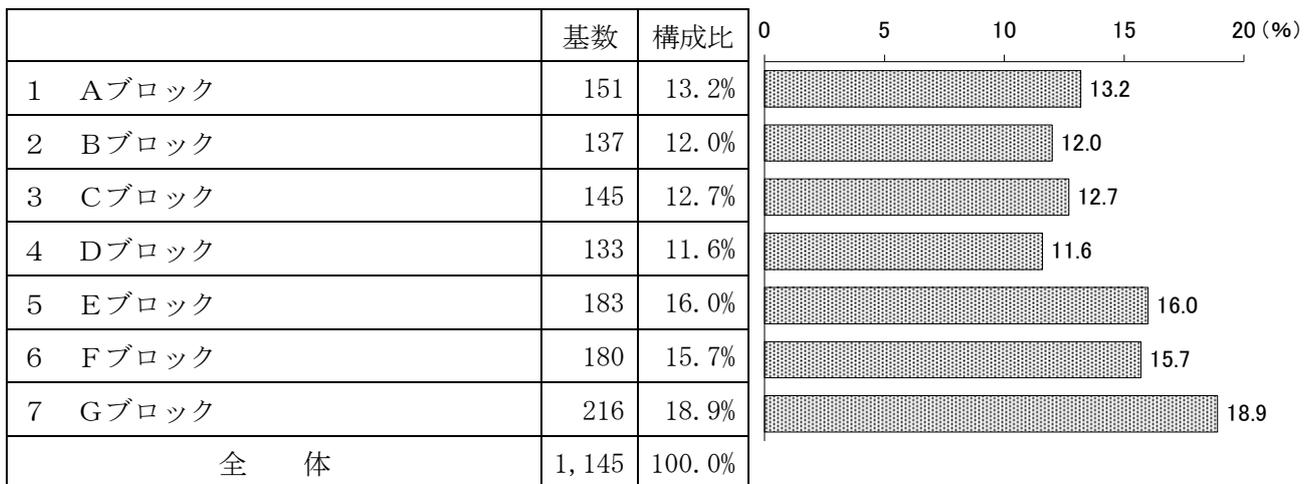
次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率 (p) 基数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
(全体) 1,145 人	± 2.51%	± 3.34%	± 3.83%	± 4.09%	± 4.18%
1,000	± 2.68%	± 3.58%	± 4.10%	± 4.38%	± 4.47%
750	± 3.10%	± 4.13%	± 4.73%	± 5.06%	± 5.16%
500	± 3.79%	± 5.06%	± 5.80%	± 6.20%	± 6.32%
400	± 4.24%	± 5.66%	± 6.48%	± 6.93%	± 7.07%
300	± 4.90%	± 6.53%	± 7.48%	± 8.00%	± 8.16%
200	± 6.00%	± 8.00%	± 9.17%	± 9.80%	±10.00%
100	± 8.49%	±11.31%	±12.96%	±13.86%	±14.14%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として算出している。この表の計算式の信頼度は95%である。

6. 標本特性

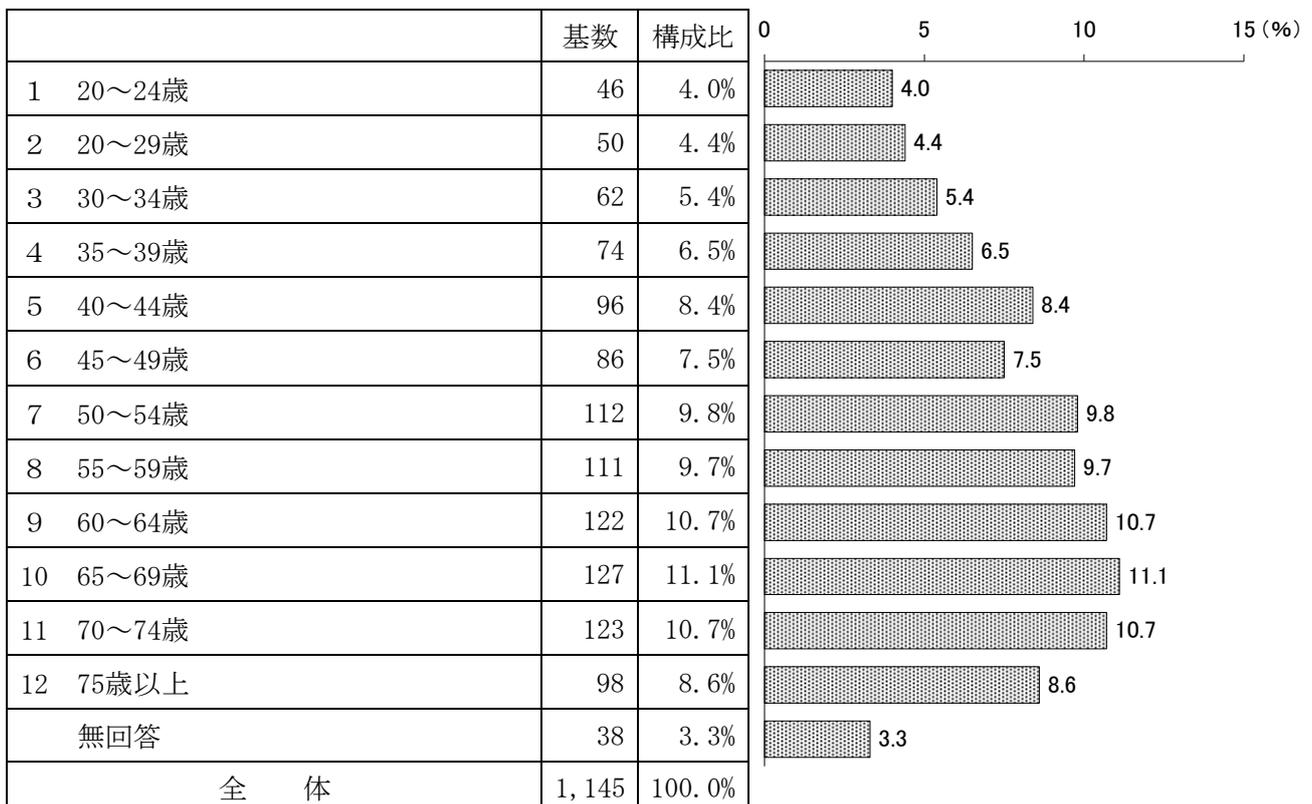
(1) 居住地域



(2) F1 性別



(3) F2 年齢



(4) 性別・年齢 (F 1・F 2)

	全 体		男 性		女 性		性別無回答	
	基数	構成比	基数	構成比	基数	構成比	基数	構成比
20～29歳	96	8.4%	44	9.0%	52	8.4%	0	0.0%
30～39歳	136	11.9%	57	11.7%	79	12.7%	0	0.0%
40～49歳	182	15.9%	80	16.4%	101	16.3%	1	2.7%
50～59歳	223	19.5%	99	20.3%	124	20.2%	0	0.0%
60～69歳	249	21.7%	113	23.2%	136	21.9%	0	0.0%
70歳以上	221	19.3%	94	19.3%	127	20.5%	0	0.0%
年齢無回答	38	3.3%	0	0.0%	2	0.3%	36	97.3%
計	1,145	100.0%	487	100.0%	621	100.0%	37	100.0%

(5) F 3 本人の職業

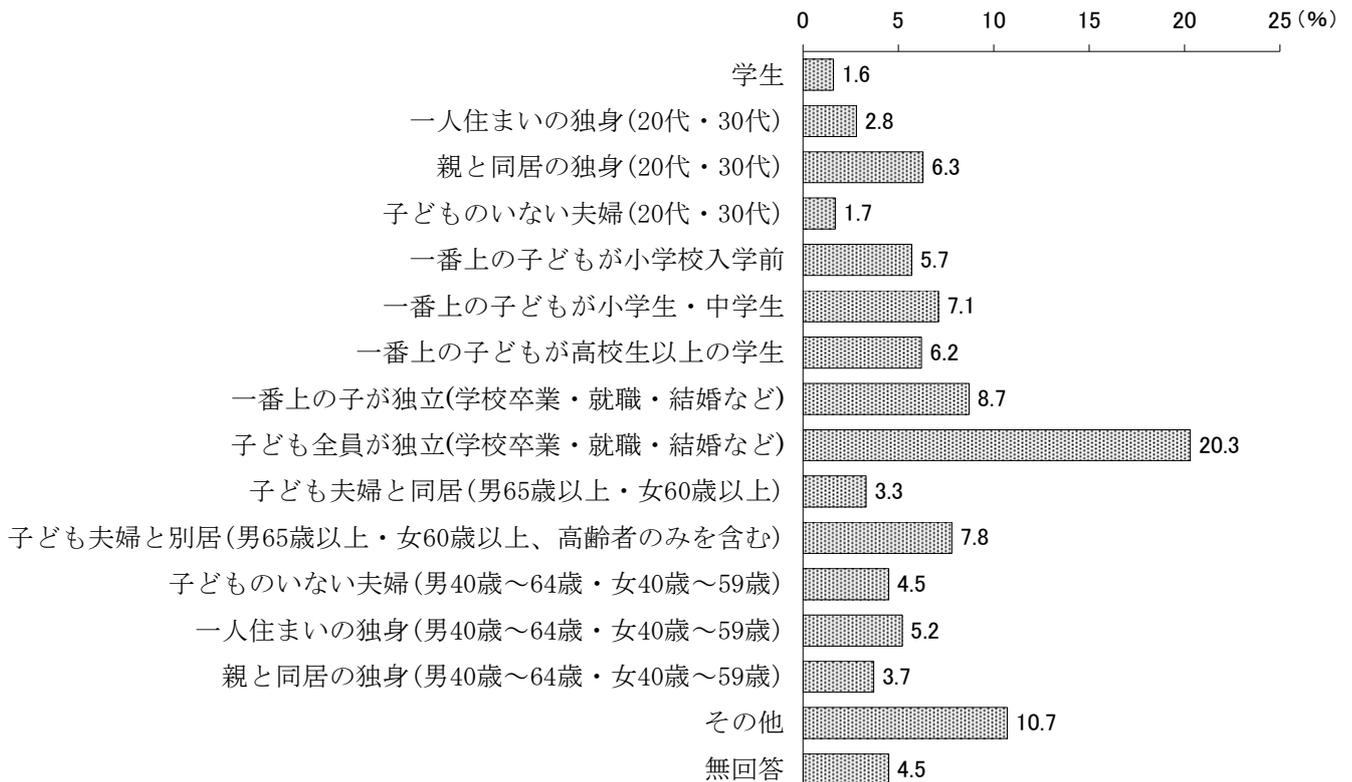
	基数	構成比	
1 自営業主	78	6.8%	6.8
2 家業従事 (家業手伝い)	18	1.6%	1.6
3 事務・技術系勤め人	250	21.8%	21.8
4 労務系勤め人	141	12.3%	12.3
5 学生	20	1.7%	1.7
6 パート・アルバイト	204	17.8%	17.8
7 専業主婦・主夫	221	19.3%	19.3
8 その他の無職	163	14.2%	14.2
無回答	50	4.4%	4.4
全 体	1,145	100.0%	

(6) F 3-1 通勤・通学地

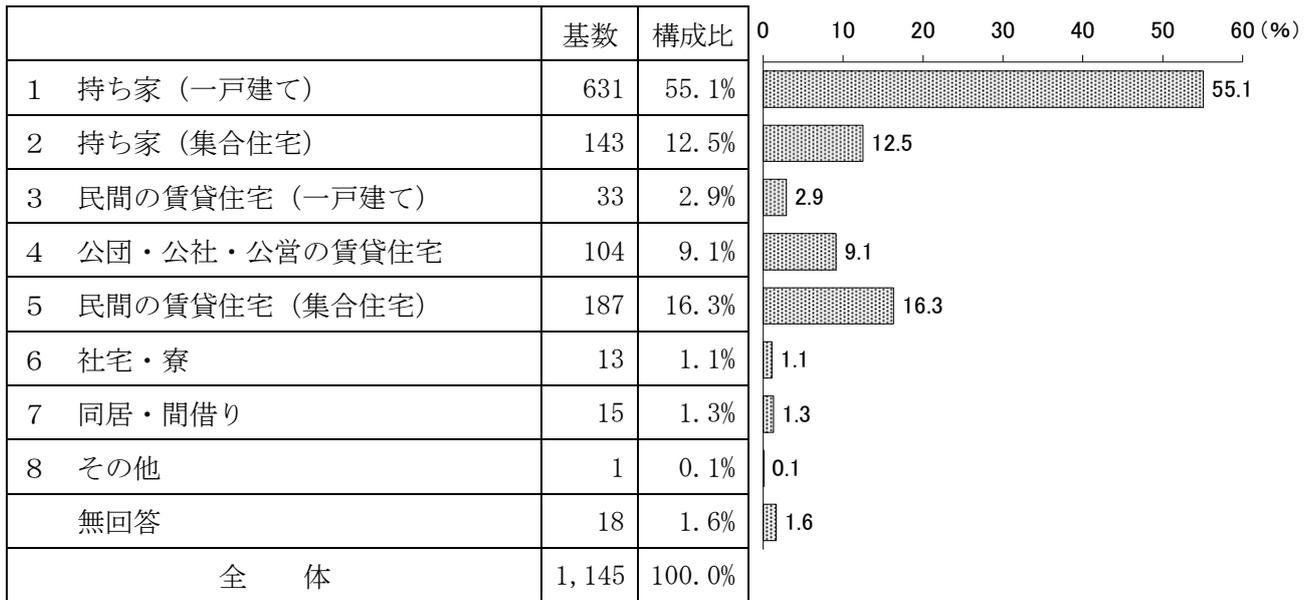
	基数	構成比	
1 福生市内	200	28.1%	28.1
2 都内23区	98	13.8%	13.8
3 福生市外 (都内23区以外の市町村)	375	52.7%	52.7
4 東京都外	30	4.2%	4.2
無回答	8	1.1%	1.1
全 体	711	100.0%	

(7) F4 ライフステージ

	基数	構成比			基数	構成比
1 学生	18	1.6%				
2 一人住まいの独身 (20代・30代)	32	2.8%	→	独身期	122	10.7%
3 親と同居の独身 (20代・30代)	72	6.3%				
4 子どものいない夫婦 (20代・30代)	19	1.7%	→	家族形成期	84	7.3%
5 一番上の子どもが小学校入学前	65	5.7%				
6 一番上の子どもが小学生・中学生	81	7.1%	→	家族成長前期	81	7.1%
7 一番上の子どもが高校生以上の学生	71	6.2%	→	家族成長後期	71	6.2%
8 一番上の子が独立 (学校卒業・就職・結婚など)	100	8.7%				
9 子ども全員が独立 (学校卒業・就職・結婚など)	233	20.3%	→	家族成熟期	333	29.1%
10 子ども夫婦と同居 (男65歳以上・女60歳以上)	38	3.3%	→	高齢期	38	3.3%
11 子ども夫婦と別居 (男65歳以上・ 女60歳以上、高齢者のみを含む)	89	7.8%	→	高齢者世帯	89	7.8%
12 子どものない夫婦 (男40歳～64歳・女40歳～59歳)	52	4.5%				
13 一人住まいの独身 (男40歳～64歳・女40歳～59歳)	60	5.2%	→	その他	276	24.1%
14 親と同居の独身 (男40歳～64歳・女40歳～59歳)	42	3.7%				
15 その他	122	10.7%				
無回答	51	4.5%	→	無回答	51	4.5%
全 体	1,145	100.0%			1,145	100.0%



(8) F5 住居形態



(9) F6 地域コミュニティ（複数回答）

